

2026年度
東海大学
特定行為研修

募集要項
二次募集



1. 東海大学の理念及び使命

- (使命) 明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材の育成を通して、調和の取れた文明社会を建設します。
- (理念) 知識や技術の単なる教授に止まらず、ヒューマニズムに立脚した教養を重視し、人間、社会歴史、世界、文明などについて、学生一人ひとりが「自らの思想を培う」事の出来る教育を実施しています。また知識偏重ではなく、素質を伸ばす支援をすることで、個性ある多彩な人材を社会に送り出すことを目指しています。さらに、教育と研修の場において、総合大学としての特性を生かし、文理融合の幅広い知識と国際性豊かな視野を持つ人材の育成を図っています。

2. 沿革

超高齢化社会を迎えたわが国において、さらなる在宅医療の推進を図って行くには、手順書により一定の診断の補助を行うといった高度かつ専門的な知識と技術を持ち、チーム医療のキーパーソンとして役割を発揮していくことができる看護師の養成と確保が求められています。

そのため、国は特定看護師の研修制度(保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為に関する省令 平成27年10月1日施行)を創設しました。

本学では、大学の理念を踏まえ、看護師キャリア支援センターを設置し、継続教育事業の一貫として、2019年8月厚生労働省が指定する研修機関の認可を受け、2020年4月より看護師特定行為研修を開始いたしました。

3. 東海大学看護師キャリア支援センターにおける特定行為研修

1) 教育理念

東海大学看護師キャリア支援センターにおける教育は、東海大学の教育理念である「人文科学と自然科学の融合による確固たる 歴史観・国家観・世界観を把握せしめる」を礎に、多様化する社会ニーズに対応できる看護を提供するために、看護専門職としての倫理を遵守し、他者を尊重する豊かな人間性を育み、科学的視点を踏まえ看護実践能力を養い、自律した優秀な専門看護者の育成を支援します。

2) 目的

- (1) 本研修の目的は、地域医療及び高度医療の現場において、医療安全を考慮しつつ、特定行為に必要な専門的臨床実践能力を育成します。
- (2) 自己研鑽を継続しながら、チーム医療のキーパーソンとして機能し、患者とその家族のQOL向上を目指して、社会に貢献できる看護師を育成します。

3) 目標

- (1) 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、当該特定行為を行う上での知識、技術及び態度の基礎的能力を養う。
- (2) 地域医療及び高度医療の現場において、患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実行できる基礎的能力を養う。
- (3) 地域医療及び高度医療の現場において、問題解決に向けて、多職種と効果的に協調できる能力を養う。
- (4) 自らの看護実績を見直しつつ、標準化する能力を養う。

4. 修了要件

本研修を修了するためには、次の要件を満たす必要があります。

- 1) 共通科目を全て履修し、試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 1)終了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験及び観察評価、一部の科目では実技試験に合格すること。

※特定行為終了後は、修了した区分について修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出いたします。

5. 履修内容の読み替え

① 特定行為研修修了者が区分を追加履修する

特定行為研修修了者が他施設にて研修を修了し区分を追加履修する場合、既修得科目履修免除申請書とシラバス・特定行為研修修了証を提出して頂き、東海大学看護師キャリア支援センター特定行為研修管理委員会で読み替えの可否を判断させていただきます。読み替えが可能な場合は、読み替え料が必要となります。

② 他施設で共通科目のみ履修修了している

他施設にて共通科目のみ履修を修了している場合、既修得科目履修免除申請書とシラバス・履修修了証明書を提出して頂き、東海大学看護師キャリア支援センター特定行為研修管理委員会で読み替えの可否を判断させていただきます。読み替えが可能な場合は、読み替え料が必要となります。

7. 研修期間と募集時期

研修期間： 通年4月～翌年3月までの1年間（希望者のみe-learningの事前学習可能）
共通科目を習得後に区分別科目を受講開始します。区分科目は複数選択可能
研修期間は原則1年間とするが、共通科目が修了している場合、最大2年迄延長することも考慮。また次年度新たに新規で特定区分を選択する事は可能

8. 研修内容と時間数

研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、研修は講義・演習・実習によって行われます。共通科目を履修後に区分別科目を(選択制)を受講開始します。

1)共通科目（必須科目）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につける為の科目

（研修期間の目安：E-learningの受講は4～6月の3ヵ月間、または12月～6月の7ヵ月間で選択可）

| 共通科目名 | | e-learning 時間 | 演習・実習 時間 | 合計時間数 | |
|-------|-------------|------------------|-------------|-------|----|
| 1 | 臨床病態生理学 | 27 | 3 | 30 | |
| 2 | 臨床推論 | 35 | 10 | 45 | |
| 3 | フィジカルアセスメント | 39 | 6 | 45 | |
| 4 | 臨床薬理学 | 35 | 10 | 45 | |
| 5 | 疾病・臨床病態概論 | 主要疾患の臨床診断・治療 | 27 | 3 | 30 |
| | | 状況に応じた臨床診断・治療 | 7 | 3 | 10 |
| 6 | 医療安全学 | 22 | 23 | 45 | |
| 7 | 特定行為実践 | | | | |
| 合計時間数 | | | | 250 | |

講義はe-learning、演習・実習・科目修了試験は対面で行い、試験に合格する必要があります。
また、「臨床推論」「フィジカルアセスメント」「医学安全学」「特定行為実践」は筆記試験に合格後、実習へ進み観察評価を行います。

希望者は、合格発表後12月よりe-learningを視聴することができます。

（e-learning194時間分の事前視聴が可能です。但し、事前視聴の期間は研修時間に換算されません。）

2)区分別科目（選択科目）：各特定行為に必要とされる能力を身につける為の科目

*複数選択可能 修了認定には、各行為ともに最低5症例以上の実習が必要となります。

| 特定行為区分 | e-learning 時間 | 演習・実習 時間 | 実習 症例数 | 評価方法 |
|---|------------------|-------------|------------|---------------|
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ①経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブ位置の調整 | 9 合計9 | — | 5 | 筆記・実技 観察評価 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ①侵襲的陽圧換気の設定の変更 ②非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ③人口呼吸管理がされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ④人口呼吸器からの離脱 | 21 合計29 | 8 | 20 各5症例 | 筆記・ 観察評価 |
| 3) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ①気管カニューレの交換 | 8 合計8 | — | 5 | 筆記・実技 観察評価 |
| 4) 循環器関連 ①一時的ペースメーカーの操作及び管理 ②一時的ペースメーカーリードの抜去 ③経皮的心肺補助装置の操作及び管理 ④大動脈内バルーンポンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整 | 17 合計20 | 3 | 20 各5症例 | 筆記・ 観察評価 |

| 特定行区分 | e-learning 時間 | 集合・演習 時間 | 実習 症例数 | 評価方法 |
|---|------------------|-------------|------------|---------------|
| 5) 胸腔ドレーンの管理関連 ①低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定の変更 ②胸腔ドレーンの抜去 | 12 合計13 | 1 - | 10 各5症例 | 筆記・ 観察評価 |
| 6) 腹腔ドレーン関連 ①腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む） | 8 合計8 | - | 5 | 筆記・ 観察評価 |
| 7) ろう孔管理関連 ①胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ②膀胱ろうカテーテルの交換 | 22 合計22 | - | 10 各5症例 | 筆記・実技 観察評価 |
| 8) 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル）関連 ①中心静脈カテーテルの抜去 | 7 合計7 | - | 5 | 筆記・ 観察評価 |
| 9) 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ①末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 | 8 合計8 | - | 5 | 筆記・実技 観察評価 |
| 10) 創傷管理関連 ①褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ②創傷に対する陰圧閉鎖法 | 34 合計34 | - | 10 各5症例 | 筆記・実技 観察評価 |
| 11) 創部ドレーンの管理関連 ①創部ドレーンの抜去 | 5 合計5 | - | 5 | 筆記・ 観察評価 |
| 12) 動脈血液ガス分析関連 ①直接動脈穿刺法による採血 ②橈骨動脈ラインの確保 | 13 合計13 | - | 10 各5症例 | 筆記・実技 観察評価 |
| 13) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ①持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ②脱水症状に対する輸液による補正 | 14 合計16 | 2 | 10 各5症例 | 筆記・ 観察評価 |
| 14) 感染に係る薬剤投与関連 ①感染兆候がある者に対する薬剤の臨時的投与 | 25 合計29 | 4 | 5 | 筆記・ 観察評価 |
| 15) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ①インスリンの投与量の調整 | 13 合計16 | 3 | 5 | 筆記・ 観察評価 |
| 16) 術後疼痛管理関連 ①硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整 | 7 合計8 | 1 | 5 | 筆記・ 観察評価 |
| 17) 循環動態に係る薬剤投与関連 ①持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ②持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ③持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ④持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ⑤接続点滴中の利尿剤の投与量の調整 | 23 合計28 | 5 | 25 各5症例 | 筆記・ 観察評価 |

3) 領域別パッケージ

* 複数選択可能

| パッケージ1：在宅・慢性期 | | (講義/演習：61時間 実習:20症例) | | |
|--|------------------|----------------------|-----------|---------------|
| 特定行為 | e-learning 時間 | 集合・演習 時間 | 実習 症例数 | 評価方法 |
| 1) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ①気管カニューレの交換 | 8 合計8 | — | 5 | 筆記・実技 観察評価 |
| 2) ろう孔管理関連 ①胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 | 16 合計16 | — | 5 | |
| 3) 創傷管理関連 ①褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去 | 26 合計26 | — | 5 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ①脱水症状に対する輸液による補正 | 10 合計11 | 1 | 5 | |

パッケージ2：外科術後病棟管理

(講義/演習：119時間 実習：75症例)

| 特定行為 | e-learning 時間 | 集合・演習 時間 | 実習 症例数 | 評価方法 |
|--|------------------|-------------|------------|---------------|
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ①経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 9 合計9 | — | 5 | 筆記・実技 観察評価 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ①侵襲的陽圧換気の設定の変更 ②非侵襲的陽圧換気の設定の変更 | 13 合計17 | 4 | 10 各5症例 | |
| 3) 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ①気管カニューレの交換 | 8 合計8 | — | 5 | |
| 4) 胸腔ドレーンの管理関連 ①低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定の変更 ②胸腔ドレーンの抜去 | 12 合計13 | 1 | 10 各5症例 | |
| 5) 腹腔ドレーン関連 ①腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む） | 8 合計8 | — | 5 | |
| 6) 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル）関連 ①中心静脈カテーテルの抜去 | 7 合計7 | — | 5 | |
| 7) 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ①末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入 | 8 合計8 | — | 5 | |
| 8) 創部ドレーンの管理関連 ①創部ドレーンの抜去 | 5 合計5 | — | 5 | |
| 9) 動脈血液ガス分析関連 ①直接動脈穿刺法による採血 | 9 合計9 | — | 5 | |
| 10) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ①持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 | 10 合計11 | 1 | 5 | |
| 11) 術後疼痛管理関連 ①硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整 | 7 合計8 | 1 | 5 | |
| 12) 循環動態に係る薬剤投与関連 ①持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ②持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 | 14 合計16 | 2 | 10 各5症例 | |

パッケージ3：術中麻酔管理領域

(講義/演習:70時間 実習：40症例)

| 特定行為 | e-learning 時間 | 集合・演習 時間 | 実習 症例数 | 評価方法 |
|--|------------------|-------------|------------|---------------|
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ①経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 9 合計9 | — | 5 | 筆記・実技 観察評価 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ①侵襲的陽圧換気の設定の変更 ②人工呼吸器からの離脱 | 13 合計17 | 4 | 10 各5症例 | |
| 3) 動脈血液ガス分析関連 ①直接動脈穿刺法による採血 ②橈骨動脈ラインの確保 | 13 合計13 | — | 10 各5症例 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ①脱水症状に対する輸液による補正 | 10 合計11 | 1 | 5 | |
| 5) 術後疼痛管理関連 ①硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整 | 7 合計8 | 1 | 5 | |
| 6) 循環動態に係る薬剤投与関連 ①持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 | 11 合計12 | 1 | 5 | |

パッケージ4：救急領域

(講義/演習:76時間 実習：45症例)

| 特定行為 | e-learning 時間 | 集合・演習 時間 | 実習 症例数 | 評価方法 |
|---|------------------|-------------|------------|---------------|
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ①経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 9 合計9 | — | 5 | 筆記・実技 観察評価 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ①侵襲的陽圧換気の設定の変更 ②非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ③人口呼吸管理がされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ④人工呼吸器からの離脱 | 21 合計29 | 8 | 20 各5症例 | |
| 3) 動脈血液ガス分析関連 ①直接動脈穿刺法による採血 ②橈骨動脈ラインの確保 | 13 合計13 | — | 10 各5症例 | |
| 4) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ①脱水症状に対する輸液による補正 | 10 合計11 | 1 | 5 | |
| 5) 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 ①抗けいれん剤の臨時的投与 | 14 合計14 | — | 5 | |

| パッケージ5：外科系基本領域 (講義/演習:95時間 実習：35症例) | | | | |
|---|------------------|-------------|-----------|---------------|
| 特定行為 | e-learning 時間 | 集合・演習 時間 | 実習 症例数 | 評価方法 |
| 1) 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル）関連 ①中心静脈カテーテルの抜去 | 7 合計7 | — | 5 | 筆記・実技 観察評価 |
| 2) 創傷管理関連 ①褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去 | 26 合計26 | — | 5 | |
| 3) 創部ドレーンの管理関連 ①創部ドレーンの抜去 | 5 合計5 | — | 5 | |
| 4) 動脈血液ガス分析関連 ①直接動脈穿刺法による採血 | 9 合計9 | — | 5 | |
| 5) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ①脱水症状に対する輸液による補正 | 10 合計11 | 1 | 5 | |
| 6) 感染に係る薬剤投与関連 ①感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与 | 25 合計29 | 4 | 5 | |
| 7) 術後疼痛管理関連 ①硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整 | 7 合計8 | 1 | 5 | |

| パッケージ6：集中治療領域 (講義/演習:76時間 実習：50症例) | | | | |
|---|------------------|-------------|------------|---------------|
| 特定行為 | e-learning 時間 | 集合・演習 時間 | 実習 症例数 | 評価方法 |
| 1) 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ①経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整 | 9 合計9 | — | 5 | 筆記・実後 観察評価 |
| 2) 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ①侵襲的陽圧換気の設定の変更 ②人口呼吸管理がされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ③人工呼吸器からの離脱 | 17 合計23 | 6 | 15 各5症例 | |
| 3) 循環器関連 ①一時的ペースメーカーの操作及び管理 | 7 合計8 | 1 | 5 | |
| 4) 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル）関連 ①中心静脈カテーテルの抜去 | 7 合計7 | — | 5 | |
| 5) 動脈血液ガス分析関連 ①橈骨動脈ラインの確保 | 9 合計9 | — | 5 | |
| 6) 循環動態に係る薬剤投与関連 ①持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ②持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ③持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 | 17 合計20 | 3 | 15 各5症例 | |

9. 受講モデル

共通科目終了後、6・7月に選択した区分別科目を履修します。さらに特定行為の区分別科目はE-learningを中心とした講義及び演習を受講します。区分別科目及びパッケージは複数の選択が可能です。区分別科目毎にOSCE、演習・実習日が異なります。

10. 受講資格

次の各号に定める要件を全て満たしていることが必要です。

【必須要件】

- 1) 日本国の看護師免許を有すること。
- 2) 看護師免許取得後、通算5年以上の実務経験を有すること。
- 3) 出願時に日本看護協会の認定・専門看護師制度に基づく認定・専門看護師の資格を持つ事が望ましい。もしくは、同等の能力を有する者。
- 4) 所属長（看護部長あるいは同等職位の所属長）の推薦を有すること。

※臨地実習に関しては、研修終了後も特定行為を実践していく為に、実習中から継続した指導体制が重要である。その為、所属施設もしくは関連施設・近隣地域の病院での実習を基本とします。

受講に当たっては各自、事前に実習施設を確保していただき、当校の「協力施設」として、厚生労働省に申請手続きが必要です。

実習施設には、該当症例数の確保・指導体制・医療安全管理体制等の要件があり、書類を作成頂いたのち、当校より厚生労働省に提出させていただきます。

- 5) 研修に必要な出席日数（演習・実習評価）及び学習時間（e-learning含む）が確保できる者。

11. 実施日程

| 日程 | 内容 | 備考 |
|------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 2026年4月1日（水） | 開講式 | |
| 4月2日（木）～ 8月上旬 | e-ラーニング授業＋集合研修 （講義・演習） | e-ラーニング授業期間中に 登校日がある |
| 8月上旬～ 翌年2月上旬 | 臨地実習 | 臨地実習期間は特定行為区分 の受講内容によって異なる |
| 2027年3月下旬 | 修了式 | |

希望者は、合格発表後12月よりe-learningを視聴することができます。

（e-learning194時間分の事前視聴が可能です。但し、事前視聴の期間は研修時間に換算されません。）

12・出願手続き

1) 募集要項請求方法

東海大学看護師キャリア支援センターホームページ「継続教育 看護師特定行為研修」から必要書類をダウンロードしてください。

ホームページ：<https://tokaikangoshien.wixsite.com/career>

2) 出願提出書類

- (1) 受講願書 (様式 1) * 受講希望科目の申請
- (2) 履歴書 (様式 2)
- (3) 勤務証明書 (様式 3)
- (4) 推薦書 (様式 4) * 原則として所属機関の推薦とします。
- (5) 志願理由書 (様式 5)
- (6) 既修得科目履修免除申請書 (様式 6) * 他施設含め既の実施した事が有る場合。
- (7) 写真票、受験票、受講審査料振込通知 (様式 7)
- (8) 特定行為年間症例実績票 (様式 8) * 自施設の直近1ヵ月の症例数を回答
* 出願の際に提出される **受講希望科目の申請** の記載にあたり、出願書類に添付された特定行為年間症例数の実績を記入し、同時にご提出ください。
- (9) 臨地実習承諾書 (様式 9)
- (10) 受験票郵送用封筒
- (11) 看護師免許証 (写) (A4判縮小コピー)
- (12) 認定・専門看護師認定証 (写) (該当者のみ A4判縮小コピー)
- (13) 宛名用紙
- (14) 提出物チェックシート (様式 10)

※提出された出願書類はいかなる理由があっても返却いたしません。

3) 出願書類提出方法

〒259-1193

神奈川県伊勢原市下糟屋143 東海大学伊勢原校舎

東海大学看護師キャリア支援センター

特定行為研修受講審査係

TEL: 0463-90-2080

* 封筒の表に「特定行為研修受講申請書在中」と明記の上、必ず「郵便簡易書留」で送付して下さい。

4) 出願期間

2025年11月5日(水)～2026年1月15日(木) 消印有効

13. 審査料納付方法

1) 審査料

11,000円(10%消費税込み)

2) 納付期間

2025年11月5日(水)～2026年1月14日(水) 15:00まで

3) 振込先

金融機関名 : 三菱UFJ銀行
支店名 : 本厚木支店
口座種別 : 普通
口座番号 : 0104097
口座名義 : カンゴシキャリアグチガッコウハウジントウカイダイガク
看護師キャリア口学校法人東海大学

注意事項

- (1) 依頼人欄には、必ず受験者名を記入して下さい。
- (2) 振込手数料は、依頼人負担となります。
- (3) 即納の審査料は、理由の如何を問わず返還できません。
- (4) 銀行から発行される領収証をもって本研修の領収書とします。
- (5) ATMより振込む際の名義は、ガク) トウカイダイガクと表示される場合があります。

14) 選考方法

1) 第一次審査

(1) 審査方法 :

書類審査

(2) 第一次審査合否発表 :

2026年1月16日 (金) 本人宛て特定記録郵便にて発送

2) 第二次審査

(1) 審査方法 :

2026年1月24日 (土) 面接

(2) 第二次審査合否発表 :

2026年2月9日 (月) 本人宛て簡易書留にて発送

電話やFAXでの合否の問合せには応じられません。

15) 受講手続きと納付金額（入講納付金及び受講料）について

受講予定者に受講手続きについての詳細をご案内いたします。なお、受講手続き期間及び納付金については以下の通りです。なお、受講手続き期間及び納付金については以下の通りです。

1) 入学手続き期間 : 2026年3月2日（月）～ 2026年3月11日（水） ※納付金は15:00まで

2) 納付金（一般）

- (1) 入講納付金 : 11,000円（10%消費税込み）
- (2) 共通科目の受講料 : 412,500円（1,650円/h、10%消費税込み）
- (3) 希望する特定行為（区分別科目・パッケージ）受講料（次ページ受講料一覧参照）
- (4) 納付金は、(1) (2) (3) の合計となります。

3) 納付金（①特定行為研修修了者が区分追加履修で読み替えの場合）

- (1) 入講納付金 : 11,000円（10%消費税込み）
- (2) 読み替え料 : 132,000円（10%消費税込み）
- (3) 希望する特定行為（区分別科目・パッケージ）受講料（次ページ受講料一覧参照）
- (4) 納付金は、(1) (2) (3) の合計となります。

4) 納付金（②他施設にて共通科目のみ履修修了し読み替えの場合）

- (1) 入講納付金 : 11,000円（10%消費税込み）
- (2) 読み替え料 : 181,800円（10%消費税込み）
- (3) 希望する特定行為（区分別科目・パッケージ）受講料（次ページ受講料一覧参照）
- (4) 納付金は、(1) (2) (3) の合計となります。

※東海大学医学部付属病院機関職員、及び東海大学看護師キャリア支援センター認定看護師教育課程・特定行為研修
卒業生の料金に関しては割引制度があります。詳細を知りたい方はお問い合わせください。

※納付金に関してはいかなる理由においても返金しません。

【区分別科目受講料一覧】

| | | |
|----------------|-------|-----|
| 1,650円/時間 税込価格 | 本体価格 | 税金 |
| | 1,500 | 150 |

| 区分 コース | 区分別科目名 | 時間 | 税抜価格 | 合計金額 |
|-----------|---|----|--------|--------|
| | | | 10%税金 | |
| 1 | 呼吸器（気道確保に係るもの）関連 | 9 | 13,500 | 14,850 |
| | | | 1,350 | |
| 2 | 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 | 29 | 43,500 | 47,850 |
| | | | 4,350 | |
| 3 | 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 | 8 | 12,000 | 13,200 |
| | | | 1,200 | |
| 4 | 循環器関連 | 20 | 30,000 | 33,000 |
| | | | 3,000 | |
| 5 | 胸腔ドレーン管理関連 | 13 | 19,500 | 21,450 |
| | | | 1,950 | |
| 6 | 腹腔ドレーン管理関連 | 8 | 12,000 | 13,200 |
| | | | 1,200 | |
| 7 | ろう孔管理関連 | 22 | 33,000 | 36,300 |
| | | | 3,300 | |
| 8 | 栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連 | 7 | 10,500 | 11,550 |
| | | | 1,050 | |
| 9 | 栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 | 8 | 12,000 | 13,200 |
| | | | 1,200 | |
| 10 | 創傷管理関連 | 34 | 51,000 | 56,100 |
| | | | 5,100 | |
| 11 | 創部ドレーン管理関連 | 5 | 7,500 | 8,250 |
| | | | 750 | |
| 12 | 動脈血液ガス分析関連 | 13 | 19,500 | 21,450 |
| | | | 1,950 | |
| 13 | 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 | 16 | 24,000 | 26,400 |
| | | | 2,400 | |
| 14 | 感染に係る薬剤投与関連 | 29 | 43,500 | 47,850 |
| | | | 4,350 | |
| 15 | 血糖コントロールに係る薬剤投与関連 | 16 | 24,000 | 26,400 |
| | | | 2,400 | |
| 16 | 術後疼痛管理関連 | 8 | 12,000 | 13,200 |
| | | | 1,200 | |
| 17 | 循環動態に係る薬剤投与関連 | 28 | 42,000 | 46,200 |
| | | | 4,200 | |

【パッケージ受講料一覧】

| | | |
|----------------|-------|-----|
| 1,650円/時間 税込価格 | 本体価格 | 税金 |
| | 1,500 | 150 |

| 区分 コース | 区分別科目名 | 時間 | 税抜価格 | 合計金額 |
|-----------|------------|-----|---------|---------|
| | | | 10%税金 | |
| 1 | 在宅慢性期領域 | 61 | 91,500 | 100,650 |
| | | | 9,150 | |
| 2 | 外科術後病棟管理領域 | 119 | 178,500 | 196,350 |
| | | | 17,850 | |
| 3 | 術中麻酔管理領域 | 70 | 105,000 | 115,500 |
| | | | 10,500 | |
| 4 | 救急領域 | 76 | 114,000 | 125,400 |
| | | | 11,400 | |
| 5 | 外科系基本領域 | 95 | 142,500 | 156,750 |
| | | | 14,250 | |
| 6 | 集中治療領域 | 76 | 114,000 | 125,400 |
| | | | 11,400 | |